|  |
| --- |
| **タイトル（サブタイトルを含めて14ポイント、全角60文字以内）** |
| 〇氏名（10.5ポイント、左寄せ、筆頭発表者は氏名の前に○をつけてください。登録可能な最大著者数は筆頭発表者を含め10名です。）所属（10ポイント、左寄せ、登録可能な最大所属は10施設までです。） |

キーワード：（３～４ワード）

項目に沿って「介入型事例研究」を**MS P明朝　10.5ポイント、図表は含めず全角1,000文字以内**でまとめてください。また、原則として薬品や検査器具等は一般名を用い（　）内に商品名と®を記載してください。このままフォーマットに沿って記載してください。また、文字数は、各自、文字カウントにてご確認の上、演題登録してください。また、発表要旨を提出する際は、本説明文および各項目に記載されている説明内容は全て削除してください。

**１．問題**：先行研究をふまえた明らかに未知あるいは未解決の看護臨床的問題の精査を簡潔に記述する。

**２．目的**：研究課題の何をどこまで明らかにするのか、目標を明示する。

**３．理論枠組み（理論構成）**：ケースフォーミュレーションから、研究課題を解決していくために精査した理論を用いて問題の構造を基本軸となる独立変数を定位し、期待される成果を示す従属変数あるいは予想される変数間関係パターンによって立体的に構成する。それによって研究課題を解く仮説を明示する。

**４．研究方法**：研究デザインと分析方法および分析用具を明瞭に示す。研究の倫理的配慮を記載する。

**５．結果**：検証過程を示す資料、データドリヴンであれば新しい理論を生む資料および得られた独立変数と従属変数の変化や条件を明瞭な指標のもとに示す。

**６．考察**：結果の精度の分析によって、仮説検証あるいは理論構築の妥当性を示す。

**７．結論**：達成された目的到達点と、付帯する条件や、今後の課題を明示する。